

(第2号様式)

北 山第 2066 号
令和7年 3 月14日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立北山学校
校長 永山 俊
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月16日8科) 16:00-17:00	場所	北山高等学校 図書館	出席 状況	学校評議員5名 教職員6名
第2回	日時	令和6年12月17日(火) 16:00-17:00	場所	北山高等学校 PTA室	出席 状況	学校評議員4名 教職員6名
第3回	日時	令和7年3月13日(木) 16:00-17:00	場所	北山高等学校 PTA室	出席 状況	学校評議員3名 教職員6名

2 学校評議員に求めた事項

- (1) 令和6年度における各学期毎の教育活動全般(諸行事、勤怠や健康面を含む生徒の様子、部活動全般、進路活動等)に対する意見及び助言
- (2) 令和6年度における各学期毎の教育活動において、課題となった事項に対する意見及び助言

3 学校評議員の意見

- (1) 各部署からの取組内容、部活動の紹介や報告等もあり、生徒の実態がより分かりやすい。
- (2) 2年生に台湾修学旅行がある。検定挑戦や学校の活性化にもつながっていくと期待する。
- (3) 女子生徒の「痩せ」が気になる。食育や栄養といった教育も今後必要になるのではないかな。
- (4) 卒業後の進学先での様子・現状はどうなのか教えてほしい。
- (5) 校内での盗難被害があったようだが、事前教育は協力できるため、連携を図っていききたい(警察署所属の評議員より)
- (6) 特別な支援を要する生徒の状況を教えてほしい。
- (7) 生徒のタブレット所持はどれくらいなのか。SNS問題への対応はどうなのか。
- (8) 生徒の進路先や進路決定率について

4 学校運営に反映した事項

- (1) 学校での活動や諸行事連絡をより広く行うため、学校webのみではなくteamsやスクリレも活用した。
- (2) 2年生台湾修学旅行後、校内発表会を実施し、「学校」の枠を超えた体験・経験を全校生徒で共有した。
- (3) 部活動顧問及び養護教諭を中心に、各部で「食」に対する声かけを実施した。
- (4) R6年度は教育実習生として5名が母校へ戻ってきた。高校卒業後の進路先で幅広い活躍ができるようHR担任や進路部を中心に情報を収集している。
- (5) 移動教室時における施錠の徹底を図った。
- (6) 心因的な支援を要する生徒に対して、HR担任・教育相談・養護教諭・管理者等、全職員での情報共有と協力体制の構築に努めた。
- (7) 一人一台端末で、タブレットの使用のみならず情報リテラシー教育も取り入れながら活用したい。
生徒の諸問題の発端がSNSということも見受けられる。学校だけでは限界もあるため、保護者や関係機関との連携も図っていく。
- (8) 3/10現在で進路先決定は89.5%、最後まで「第一希望」を後押ししており、肯定的数値と捉えている。
全職員が目的を持った授業を実施し、身につけさせる力の育成を図れるよう今後も継続していきたい。

5 課題その他

定員確保について、地域との連携を図りながら学校の魅力化を進め、引き続き意見を求めている。